

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 265 号	氏名	前川 芳秀
学位審査委員	主査 山本 太郎 副査 由井 克之 副査 金子 修		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は、マラリア浸淫地であるインドネシア・ロンボク島においてマラリア媒介蚊を含むハマダラカ蚊相と媒介蚊の生態を明らかにし、媒介蚊の防除方法の検討をしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>調査地で通説となっていた海岸部のマラリアにとらわれず、調査地域全域において3年間に渡り徹底した幼虫・成虫調査を行ない、得られたデータと蚊から検出したマラリア原虫スポロゾイト抗原の結果に基づいてマラリア媒介蚊を特定し、蚊の吸血行動などに基づいた防除方法の検討も行なっており、研究方法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で得られた豊富なデータは、調査地のハマダラカ蚊相およびマラリア媒介蚊としての生態を明らかにし、<i>Anopheles balabacensis</i> が調査地域山間部においてマラリアを媒介していることを初めて記録した。さらに山間部と海岸部で異なった媒介蚊による2つのマラリア感染環があることを明らかにした。また、常温揮発性ピレスロイド剤を用いた忌避効果試験を行っており、その結果として蚊吸血行動を回避する結果が得られており、今後の防除方法の一つとして進展することが期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、衛生医動物学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			